

北八下校区
第2号
(2018年度版)

元気っ子だより

発行:八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会



みんなで育てたやしモン♪(広報誌編集委員 網野尋昭 撮影)

八下中学校区
青少年健全育成協議会
会長 北口 崇

地域の皆様、保護者の皆様、学校園関係者の皆様、平素は本協議会の活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。協議会では、子どもたちの健やかな成長を願い、元気っ子運動会や夜間巡回、校区清掃への参加等を行っております。このような活動をとおして感じることは、普段からとのコミュニケーションが非常に大切だということです。これからも、お互いに挨拶や声掛けが行き交い、子どもたちが元気に過ごすことができる地域をめざして活動してまいります。

北八下校区自治連合会 会長 藤木耕造

平素は、校区自治連合会に対し多大なご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、今年度は6月に大阪北部を震源とする震度6の大地震が、また9月には暴風雨とともに台風21号が発生しました。いつ何時、自然災害が校区を襲うかもわかりません。万一の場合、被害を最小限に止めるためにも「日頃の備え」をしていただき、校区の自主防災訓練への積極的なご参加をお願いします。連合会としましては、ますます住みよい地域を目指し取り組んでまいります。



青少年健全育成協議会

この一年



「青少年健全育成協議会(健育会)」って???

堺市内の中学校区単位に設置され、その目的は「校区の子どもの健全育成にむけた取り組みを推進すること」です。そして本協議会は、地域と学校園を中心として約50名で構成されています(構成メンバーは本誌第1号に記載しています)。活動の経費は堺市の補助金でまかなければなりませんが、「堺元気っ子づくり推進事業」の名のもと、

次の五つの事業を行っています。

①地域交流事業(元気っ子運動会もしくはフェスティバル)。②啓発・研修事業(校区巡回、あいさつ運動、健育会教育講演会)。③地域ボランティア事業(通学路清掃、花いっぱい運動)。④情報発信事業(『北八下校区 元気っ子だより』の発行)。⑤事務局運営事業(総会、実行委員会)。



(5)



(7)

堺市の施策「元気っ子づくり推進事業」は、学校・家庭・地域が協働し、地域社会をあげて青少年健全育成の取り組みを推進し、総合的な教育力を活性化することで、青少年に「豊かな心」と「生きる力」を育むことを目的としています。

北八下では、学校園、PTA、子ども会、青少年指導員が中心となって、運動会とフェスティバルを隔年開催しています。子どもたち

にわが町(北八下)をふるさとと思って欲しい。そのためには、地域の子どもと大人が一同に集まり体験して感動し、みんなで楽しさを共有するレクリエーション事業を行なうことを育むことが大切だと思っています。

今年度は、9月15日に北八下小学校で運動会を開催しました。内容は以下の通りです。

①フラフープを輪投げのように投げる。②紙に書いてある物を会場の中から探しして一緒に走る。③おもちゃの魚を釣つて走る。④サッカーボールをドリブルして走る。⑤籠を担いで走る。⑥水鉄砲でおもちゃをゲットして走る。⑦やしモン♪と書いた3個の箱を積んで走る。⑧紅白玉入れ。⑨棒からぶら下がつ

たお菓子を手を使わずにくわえる。

⑩ラムネの早飲み競争。⑪児童・園児かけっこ。⑫学年別の全員リレー(最高に盛り上がる競技です)。

このように、わくわく!好奇心を持って、自ら体験して、仲間と楽しさを感じることが、心を豊かにし、生きる力を育むと思っています。

来年度は、フェスティバルです。

たくさんのご参加をお待ちしています。

元気っ子運動会



健育会教育講演会



通学路清掃

8月19日、八下中学校・北八下小学校・北八下幼稚園の生徒・児童・

いじめの例を紹介され、たあいもないやりとりが、わずか数分でいじめへと変わっていく様子を、参加者一同かたずをのんで見入つて

スマホのLINEによるネットにおいて研修会が開催され、株式会社スマートバリューの北口博一氏より「SNSの現状・トラブル等の予防策／対応策」をテーマに講演していただきました。



12月6日、八下中学校図書室には、子どもたちへの危険性の周知と、保護者による管理が大切であると教えていただきました。

(健育会委員 隅谷俊紀)

いました。

こういったトラブルを防ぐためには、子どもたちへの危険性の周知と、保護者による管理が大切であると教えていただきました。

(健育会委員 阪本昌英)

校区巡回



園児と保護者・先生、地域の方々が協力をして二学期が始まる前に校区の通学路を清掃しました。

広い校区を①中村②野遠・野遠東③南花田・南花田東の3つに分け、ゴミ拾いや草刈りなどを行つた結果、とてもきれいになりました。

参加した生徒は、「暑いなか大変でしたが、通学路が美しくなり、心もすがすがしくなりました」と語っていました。

本協議会では、子どもたちの見守り活動の一環として、学校の夏休み等の長期休業中や校区の夏祭りに合わせて夜間巡回を、保護者・指導員の方々とともに実施しました。

8月6日～8日、20日～22日の夏休みの巡回では、6日間で延べ約100人の方にご参加いただきました。当時は19時から約1時間、校区内の通学路をはじめ、神社や

することは、子どもたちの生活環境を維持するうえで、とても大切だと思います。引き続き、皆様方のご協力をよろしくお願ひいたします。

(健育会会长 北口崇)

ライトを照らしながら丁寧に異常がないか巡回しました。また、冬休みも同様に夜間巡回(12月26・27日、延べ約60名)を実施しました。

えてつながろう！



地域の方々とのお餅つき

春から古代米作りを始め、秋には稲刈りをし、そして冬にはその古代米でお餅つきをします。地域の方々や保護者の方にお手伝いをいただき、子どもたちも「べつたんぺつたん」とお餅をつき、「びろん」とお餅をつき、「びろん」とのばし、思い思いにまるめます。地域の方々と触れ合いながら、日本の伝統行事であるお餅つきを自分の目で見て体験できること、そして四季を通して地域の方々から親子共に学べることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

(PTA会長 北野優)



今日は快晴、バザ一日和

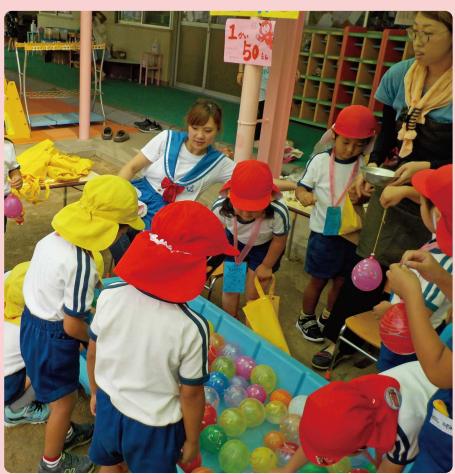
「○○ちゃんのママのお店だね」「こつちは○○くんのパパだよ」

今日はお友だちや自分の家族が楽しいお店の店員さんです。宝釣りやスーパー、ボールすくい、ジュース売場、お母さん手作りの品が

並ぶバザー会場。どこを見ても皆ニコニコ花丸満点の笑顔です。

毎年この日を楽しみにして下さっている地域の方や園児のために色々と話し合い、皆で作り上げたバザーは親子それぞれに忘れられない特別な一日となりました。

(PTA副会長 姫野乃園美)



あけぼの苑で学んだこと

私は、あけぼの苑に2回行つてとてもたくさんのこと学びました。職員の人たちがみんないつもいることは、一番利用者さんることを考えていることです。なによりも一番に利用者さんることを考

えていることがすごいと思いました。これからは、あけぼの苑の職員さんのように、利用者さんや困ったらしいと思いました。利用者さんたちは、楽しそうに過ごしていい所だなど思いました。

(6年2組 茂薺心音)





学校園・世代を超



ハ下中学校 topics



北ハ下トビ

僕は、職場体験でトップテックさんに行きました。そこは車の修理や、部品の交換をしています。僕はそこでエンジンの分解を体験しました。思ったより大変でしたが、手伝つてもらひながらほとん



職業体験に行って

僕たちは、中学生スタッフとして、元気つ子運動会の仕事をさせてもらいました。僕たちは招集係として働きました。初めはすぐ集まると思って招集をやっていたけど、人を集めることに苦戦しました。

元気つ子スタッフをして



(2年1組 山内律)

(2年1組 川端祐輝、2年2組 山内俊幸)

ど分解することができました。午後は検査場に連れて行つてもらいました。検査は二十個ほどあり、びっくりしました。僕はこの仕事を体験して、車の仕組みや車の修理をする仕事の大切さを学びました。

でも、大人の方が呼びかけるとすぐ集まりました。

大人の人たちが、自分たちを指導してくれたので行動出来ました。スタッフの仕事をしてみて、子どもたちからたくさんの笑顔が見れて良かったです。

オシタニプレスに探検に行きました。そこでびっくりしたことがありました。それは、部品を作った失敗した時、押谷社長さんや社員さんたちはみんなで話し合つて、最後にはみんな泣きそうな顔

校区探検で地域の方々と交流



オシタニプレスで働いている皆さんは真けんに一生けん命に仕事をしていると思いました。そして、みんなで助け合うチームワークのいいステキな会社だと思いました。

(3年3組 近藤ほのか)



北八下幼稚園園長 井上知子

先生よりひとこと

数十年前の幼稚園の頃、秘密基地を駆け回った時の草の匂いや夕方のひんやりした空気を覚えていました。一緒に遊んでいる友だちの数だけ「やつてみよう」と試す回数が増え、思うようになつたり失敗して怪我をしたりして、どつちでも笑い合つて冒險している気分で遊びまわっていました。だんだんと「こうすればこうなる」と感覚的にわかっていくたように思います。

ひとしきり遊んだ後は、両親や近所の人々が遊びの話を聞いてくれました。話すことでもまた遊んでいた。その時感じた心地よさは今もなお残っています。

人は、人とのかかわりの中で育ち、心に

さまざまことを感じます。この北八下地域は、人とかかわる距離が近く感じられます。

しつけ

これからも学校とご家庭がそれぞれの場で、子どもの姿を見ながら、子どものよりよい成長のために連携して教育に取り組んでまいりたいと思います。

今後ともよろしくお願いします。



遊んで体感して笑い合つて

数十年前の幼稚園の頃、秘密基地を駆け回った時の草の匂いや夕方のひんやりした空気を覚えていました。一緒に遊んでいる友だちの数だけ「やつてみよう」と試す回数が増え、思うようになつたり失敗して怪我をしたりして、どつちでも笑い合つて冒險

しています。

子どもたちを健やかに育てるためには、学校での教育とともにご家庭での教育も大切です。ご家庭での教育の参考に子育ての心得「あいうえお」を紹介します。

「あせらずに、一步一歩を、踏みしめて」「いうよりも、先ず聞いてやる、親心」「家中、きちんとさせる、よい環境」「笑顔こそ、何にも、勝る、よい教え」

います。



北八下小学校校長 古中秀信

子育ての心得

本校では「智・徳・体」のバランスの取れた子どもの育成をめざし、子どもたちの教育に力を入れています。そのため、教職員一同、子どもたちのよいところを認めほめるなどを大切にして指導にあたっています。

日頃は、本校教育活動の推進にご理解、ご協力、ご支援をいただきありがとうございます。本校の生徒を見ていると、大人に暖かく愛情を持つて見守られ、健やかに素直に育つていることがよくわかります。

中学生という時期は、子どもから大人になる移行期に当たり、そのため精神的に不安定になりやすい時期です。その不安定さが反抗的な言動や問題行動につながったりしがちです。そのような不安定な中学生を眉をひそめて排除するのではなく、地域の子どもたちとして、温かく見守り導いてくださるこの校区の素晴らしいしさを感じています。

身体は大きくなっていますが、精神的にはまだまだ幼く、周囲の大人の支えが必要です。さまざまな地域行事の中でも、未成熟な中学生たちを教え、導いていくだければ幸いです。今後も八下中学校の生徒たちを、地域の子どもたちとして育てていっていただきますようお願いいたします。

八下中学校校長 田中裕之

地域で育つ子どもたち



やしモン♪ 特集

藤大悟さんのデザインから2015年に誕生した「やしモン♪」。

當時八下中学校2年生の斎藤大悟さんと、東大谷高校ダンス部で当時1年生の杉村理緒さんのアレンジで現在のやしモン♪だ



やしモン♪の原画



くまモンと記念撮影

さらに、子どもやお年寄りにも踊ってもらえるようにと、東大谷高校ダンス部で当時1年生の杉村理緒さんのアレンジで現在のやしモン♪だ

Mソングで有名なウインズ平阪さんにやしモン♪応援歌を作つていただき、その夏にはバブリーダンスで有名になつた府立登美丘高校ダンス部で当時3年生だつた高橋彩華さんには振り付けをしていただきました。

翌年には、ジョーシンのCMソングで有名なウインズ平阪さんは色々なことを計画し実行しました。

6月にはウインズ平阪さんの熊本震災復興支援ライブに熊本県まで同行し、やしモンも大人も田植え、稻刈りに参 加。9月には見事にやしモン♪が出現しました。(表紙写真)

2016年からゆるキャラグラムプリに出場していく、100位以内を目標に挑んだ2018年は惜しくも105位でした。

もつともつとやしモン♪に親しんでもらおうと、今年度は援金として寄付させていただき田んぼアートに挑戦!

やしモン♪【公式】ツイッターアカウントを開設していますので、「やしモン♪ツイッター」でインターネット検索から一度チェックしていただいて、フ



田んぼアートに挑戦!



堺まつりでダンスを披露する北八下幼稚園児

当時八下中学校2年生の斎藤大悟さんが誕生しました。

2016年からゆるキャラグラムプリに出場していく、100位以内を目標に挑んだ2018年は惜しくも105位でした。

やしモン♪ダンス隊として出場し、たくさんの声援をもらいました。

やしモン♪【公式】ツイッターアカウントを開設していますので、「やしモン♪ツイッター」でインターネット検索から一度チェックしていただいて、フ

北八下校区 あれこれ



ふれあい喫茶

毎月開催、7年目を迎える

10月7日、南花田町東町会館で

開催のふれあい喫茶を訪ねました。

スタッフの皆さん、前日から

準備をされ、当日も朝早くから開

店の段取り（約100セット）を

されていました。

開店後、すぐに地域の人たちが

集まり、モーニングサービスを注

文。小さなお子さん連れのご夫婦

などたくさんの人たちが集い、会

話が弾み、和気あいあいの場とな

っていました。

料金は200円、毎月第一日曜
日8時30分～11時の開催です。

（広報誌編集委員 増田康夫）



ドッジボール大会

決勝ト進出

生チームと3・4年生チームが出
場。ともに決勝トーナメントに進
出し、それぞれ4位と3位入賞の
成績をおさめました。

参考した小学2年生

の左海絢美さんは「毎

試合、1人は当てるこ
とができるよかったです。

最後に負けたのが悔し
いから、また来年もや
りたい」と話してくれ
ました。

11月24日、北八下小学校において第5回絆フェスが開催されました。北八下幼稚園児による「やしモン♪ダンス」、北八下小学生による「ダンスでレッツゴー」、八下中学校ギター部による演奏と、大阪市立大学アカペラグループ「Re gu lus」の声だけの素晴らしいコーラスは観客を魅了しました。

（絆フェス実行委員長 網野尋昭）

そして老人クラブの錢太鼓、中学生漫才に続いて行われた町会対抗のど自慢大会は、各町会の精鋭たちが自慢の歌を披露し、町会長5名による採点で初代優勝の栄冠は南花田町会に輝きました。

老若男女、世代を超えて大いに盛り上がりました。

また屋外での模擬店も大盛



からは1・2年

北八下小学校

ボール大会」が

主催の「ドッジ

議会北ブロック

市こども育成協

天のもと、金岡

南小学校にて堺

10月28日、晴

天のもと、金岡

市こども育成協

議会北ブロック

主催の「ドッジ

ボール大会」が

開催されました。

（広報誌編集委員 関谷俊紀）



（絆フェス実行委員長 網野尋昭）

ドッジボール大会

決勝ト進出

生チームと3・4年生チームが出
場。ともに決勝トーナメントに進
出し、それぞれ4位と3位入賞の
成績をおさめました。

参考した小学2年生

の左海絢美さんは「毎

試合、1人は当てるこ
とができるよかったです。

最後に負けたのが悔し
いから、また来年もや
りたい」と話してくれ
ました。

子育てひろば

南花田町東町会館にて



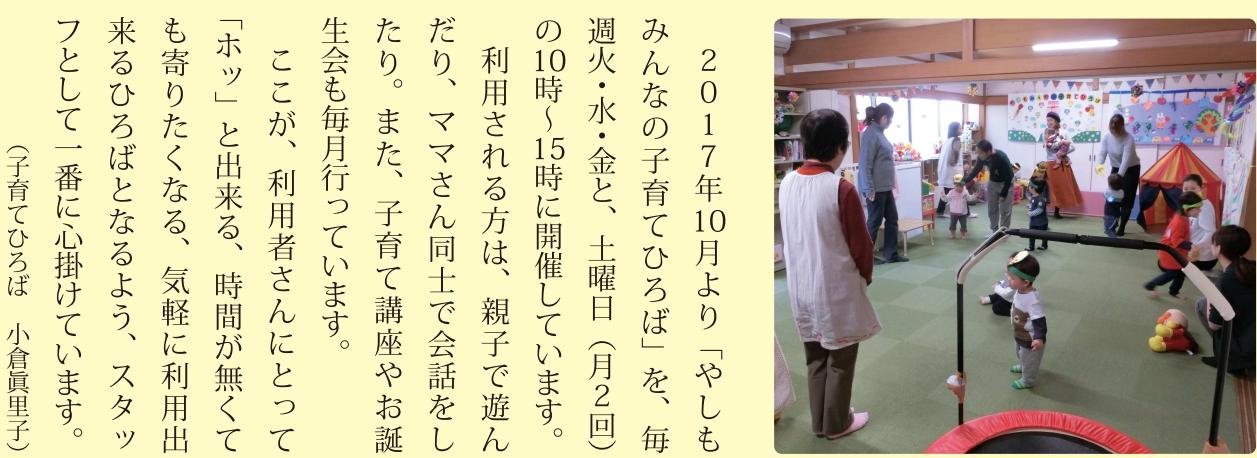
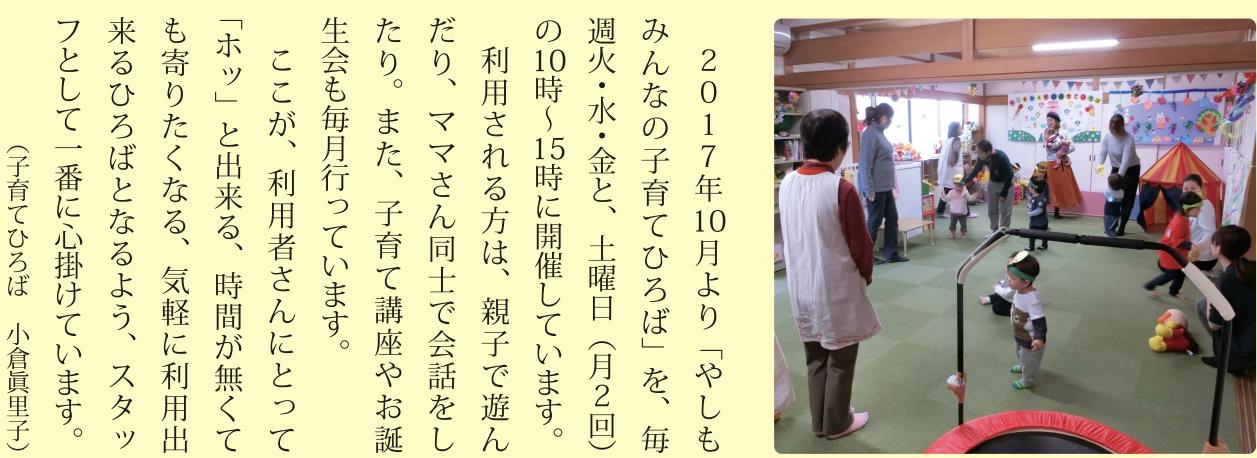
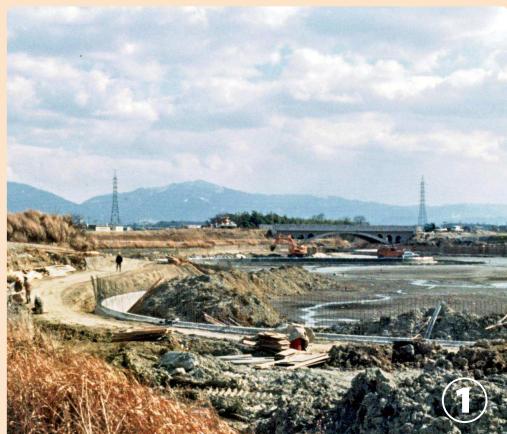
2017年10月より「やしもみんなの子育てひろば」を、毎週火・水・金と、土曜日（月2回）の10時～15時に開催しています。

利用される方は、親子で遊んだり、ママさん同士で会話をしたり。また、子育て講座やお誕生会も毎月行っています。

ここが、利用者さんにとって「ホツ」と出来る、時間が無くて来るひろばとなるよう、スタッフとして一番に心掛けています。



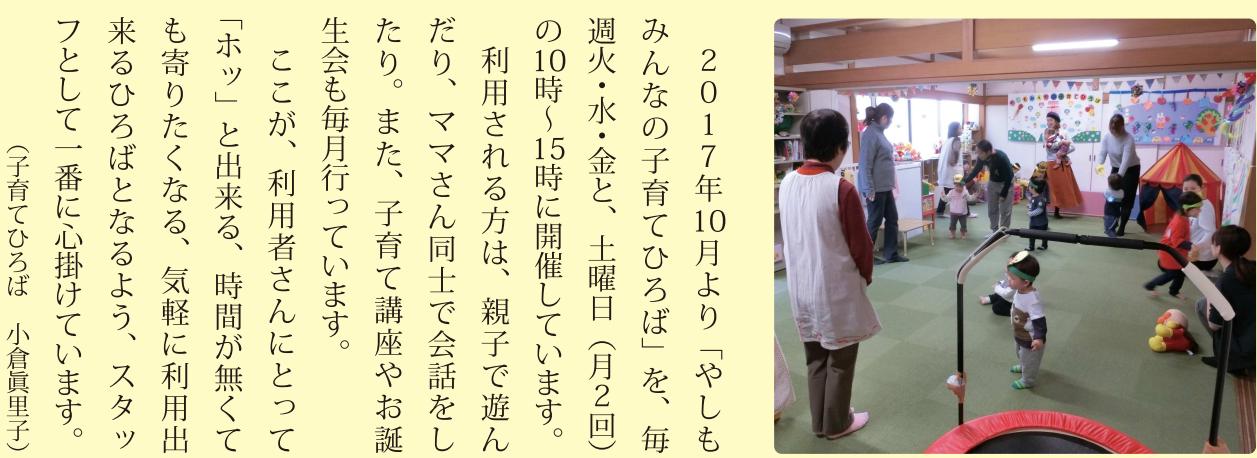
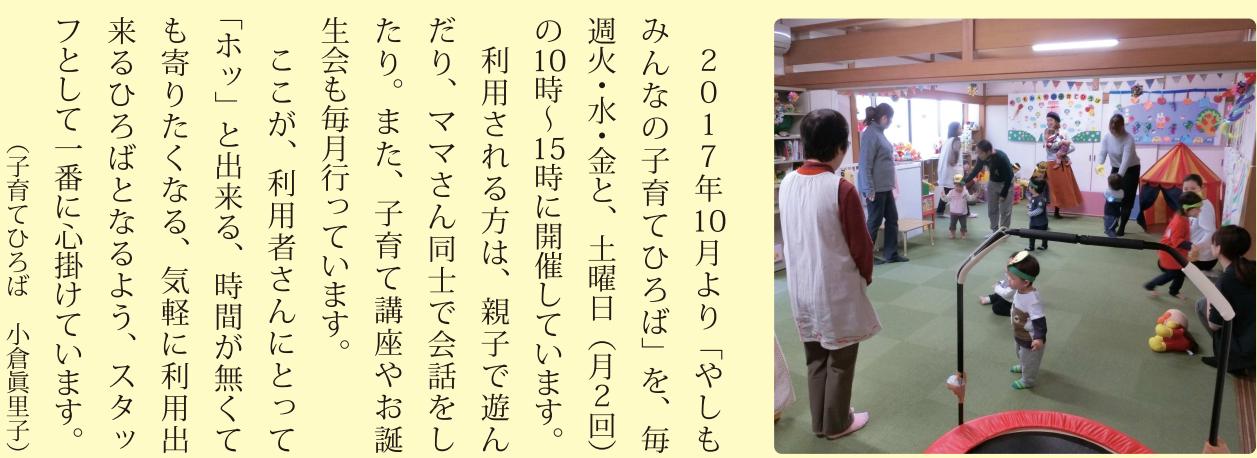
（南花田町84-1、第2・第4土曜日11時30分～13時30分、子ども無料・大人300円）



代表の森重子さんは「食事を提供する場所ではなく、支援者（ボランティア）と利用者がともに成長していく場所にしていきたい」と意欲的に話していました。

堺市内の子ども食堂として独自で店舗を構えて活動されるのは、「マリリンの家」が初めての試みだそうです。

また、子ども食堂だけでなく、子育て中のお母さんが気軽に立ち寄ってお茶が出来る「ママちゃんカフェ」や個人のスキルアップを目指す「まなびの場」などの活動をされています。



子ども食堂

南花田町「マリリンの家」



北八下今昔

どこか分かりますか？



左の写真は昔の北八下校区内を写したものです。いつ、どこを撮影したのか分かりますか？
(答えは11面をご覧ください)

（広報誌編集委員 阪本昌英・古場俊）

校区町会の祭り

中村町会・秋祭り



10月7・8日に中村町の秋祭りが開催されました。

各団体の皆さんのが様々なお店や催しをしてお腹もいっぱい。楽しい時間を過ごしました。

青年団のふとん太鼓はやつぱり会館前が一番の見せ場で、掛け声と共に大いに盛り上がりました。

(広報誌編集委員 松田大佑)



10月7・8日に中村町の秋祭りが開催されました。

今回から町会館前の中村町ふれあい広場にて前夜祭が開催され、多くの人で賑わいました。

スタッフは中村町、野遠東を中心約30名で、週3回（火・木・土）パトロールし、地域の犯罪防止と、安心で安全なまちづくりを担っています。

(広報誌編集委員 松田大佑)

8月11日より防犯パトロール「ふれあい隊」が新しく発足しました。

これまで近隣5校区で活動していましたが、今年度より北八下校区単独での活動となっています。

防犯パトロール

「ふれあい隊」発足



ほくぶ作業所

「ほくほくまつり」開催



10月20日、南花田町のほくぶ障害者作業所の「ほくほくまつり」が開催されました。10時30分から、やしモン♪も参加して、和太鼓グループの演奏で、まつりが始まりました。



屋内ステージでは、ボランティアのパフォーマーのマジックやおもしろソング、ダンスなどが地域の人も飛び入り参加で盛り上がりました。来場者は、模擬店でおいしい食べ物（焼き込みごはん、焼きそば、から揚げなど）やコイン落とし、スーパーボールすくいのゲームを楽しんでいました。

(広報誌編集委員 増田康夫)

バザーや手作りの小物販売もありました。施設内をめぐるスタンプラリーやビンゴゲームで盛り上がりっていました。

「ほくほくまつり」に参加して、障害者の福祉と、地域とのかかわりに关心を寄せていただきたいと思いました。



北八下今昔

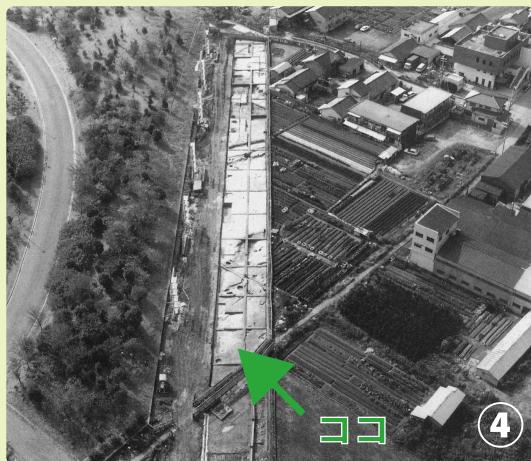
昔の写真の答え



の交差点辺りです(写真⑤の矢印)。道路の建設(現在の南花田中央交差点から、南へ約600メートル)

9面の「昔の写真」の答えです。
①は1970年代、大泉緑地整備中の大泉池周辺でした（提供元）

〔一般財団法人大阪府公園協会〕
大泉池の北側から南東に向かつて撮った写真です(写真③)〔現在〕。



が開催されました。15校区24チーム約170名の参加で行われ、本校区老人クラブ会長の岸田百合子さんの選手宣誓に始まり、野遠東「未永



ディスコン大会

老人クラブ 楽しく健康！



共に笑顔絶えず、黄色のポイント近くにディスクが止まつた瞬間、歓声が沸き上がりました。日頃の練習の成果がうかがえました。

「第3回北区長杯ディスコン大会」
9月23日に光竜寺小学校にて、

(広報誌編集委員 亀井一慶)

青少年指導員有志8名がサポート隊として参加しました。厳しい寒さでしたが、荒天の予報が一転快晴となり、前夜から積もった新雪で、一面白銀の世界。子どもたちは大喜びでした。

青少年指導員有志





校区たんけん

～大泉緑地～



北八下校区を空から見てみると、大きな池（大泉池）とその周りには季節の彩を映す約200種類32万本の緑豊かな木々が生い茂っているのが目立っています。そう、そこは皆さんもよく訪れる大泉緑地です。

みんなの憩いの場

この大泉緑地は、服部緑地（豊中市）、鶴見緑地（大阪市）、久宝寺緑地（八尾市）とともに、1941年に大阪都市緑地として計画された大阪四大緑地の一つです。

計画当時は、まだまだ田んぼや畠が多く残っていましたが、1969年度から本格的な整備が始まり、1972年4月には、芝生広場、金岡遊戯場（わんぱくランド）、噴水等が完成し、西側部分の30haが開設されました。その後も桜広場や中央休憩所、かきつばた園、南花田遊戯場（海遊ランド）など、園内の整備が進められ、今では年間約250万人が訪れているとのことです。



地域の方の話によると、60年前、子どもたちは、大泉池の堤の周りを歩いて学校に通っていたそうで、また、魚釣りを楽しむなど、大泉池周辺は、当時も子どもたちの遊び場の一つだったようです。

大泉緑地は今でも私たちの校区では、子どもから大人までの憩いの場として、多くの方たちがウォーキングや自然鑑賞、遊具遊びに訪れています。また、北八下幼稚園や北八下小学校、八下中学校の校外学習の場として活用されるなど、まさに私たちの生活・成長の思い出の場所となっています。

（広報誌編集委員 北口崇・亀井一慶）

編集後記

「北八下校区のことをもっともっと知ってほしい」というあつい思いのもと、今年度は編集委員が3名増えて10名（下記参照）に、また誌面を4ページ増やして12ページにしました。でも編集をしていて気づかされたのは、「知ってほしい」と意気込んでいた私たちの方が、かえって多くのことを知らされたという事実。北八下って味わい深い校区ですね。（広報誌編集委員長 隅谷俊紀）

『北八下校区 元気っ子だより』 第2号（2018年度版）

2019年（平成31年）3月1日発行（発行部数3500部）

発行：八下中学校区青少年健全育成協議会 広報誌編集委員会

事務所：堺市立八下中学校内

〒591-8012 堺市北区中村町977-20 電話072-252-0412

広報誌編集委員

増田康夫

隅谷俊紀

網野尋昭

北口 崇

阪本昌英

古場 俊

櫻田 博

松田大佑

澤田佳知

亀井一慶